

後援会ニュース「しおかぜ」は街づくりのコミュニティ紙として皆さんの暖かいご支援をお願いします。ご意見をお聞かせください。



# しおかぜ

日本共産党浦安市東部後援会  
News

第40号

2011年 1月27日  
編集責任者 元木計文  
047-355-8526  
部内資料

## 元木美奈子 四選に向け始動



【 議会質問中の元木議員 】

### ご支援の輪を大きく広げて下さい！

**市政をリードする  
なくてはならない存在！**

いま国の政治は、不況下での不安に耐え続けている国民をよそに、権力闘争に明け暮れています。長きに渡る自民・公明党による悪政を引きずっていることを割り引いても、目を覆うばかりのひどさであります。

暮らしに直結する税制、これからますます進む高齢化への対応、若者の夢を砕く就労の問題、騒いだけけでねずみ一匹出てきていない沖繩の基地問題、働く条件を保障する保育所等々待ったなしの課題は枚挙にいとまがありません。

練られていなくて、耳に心地よく聞こえるだけの政策公約を乱発して、民主党は政権をかすめ取っていききました。羊頭狗肉とはまさにこのことです。

しかしながら、私達の生活は日々続いていきます。嘆いているばかりではなく、変わらぬ悪政には反撃していかなければなりません。

春の訪れとともに、四月になれば一斉地方選挙の季節ともなります。当浦安市においても、市議会議員選挙が行われます。国の政治がこのようであれば、その執行に当たる地方自治体は困難さを増すばかりであります。逆に言えば、自治体の仕事はそれに立ちまわらなくてはならず、それを果たしていくことと言えるでしょう。

浦安市議会の中でも日本共産党の三議員はその防波堤となるべく、精力的に提言し、実行させ、そして市民の皆様へ報告してきました。当地域より四選目に挑むこととなる元木美奈子議員は、その中核として市政をリードし、なくてはならない存在となっております。春までに、ご支援の輪を大きく広げていただきますよう、心よりお願いいたします。



京葉線風害対策で国土交通省に申し入れ。風で直に止まる京葉線の風害対策を要求。

ここ一・二年、私達は政治の担い手は変えることができるのだということをお学んできました。日本共産党・元木美奈子へのご支援をお願いして、ごいっしょに「住民こそ主人公」の市政を進めていきましょう。



新浦安駅西口改札口の設置問題でアトレ新浦安に申し入れ。舞浜方面から直接ホームに入れる改札口の設置を要求。

2011年は一斉地方選挙の年！

## 新春のつどい



2011年一斉地方選挙まで、3ヶ月を切りました。元木美奈子さん、井原めぐみさん、みせ麻里さんの再選を目指す「新春のつどい」を行います。現職3議席の再選のために「新春のつどい」には、ぜひお知り合いの方お誘いのうえ、ご参加下さい。

- 日時 2011年2月13日(日) 12時30分開会(12時開場)
- 会場 市民プラザ WAVE101 大ホール
- 会費 2,000円(小学生まで無料)
- ★70歳以上・中高生は1,000円、夫婦お二人で3,000円
- 内容 楽しく・元気の出る催しを企画中
- 連絡先 元木 355-8526
- 共催 日本共産党 浦安市後援会  
日本共産党 浦安市委員会

2011年1月 カズ

# 私（男性）の介護体験 第8回

美浜四丁目 伊那三郎

## 6. 浦安市での今後の介護体制への提案

これまでの個人的介護体験から、いくつかの深刻な問題がある事に気がつきましたので、この機会にまとめさせていただきます。特に民主党政権が最近やろうとしていることは自公政治への逆戻りで、被介護人の症状を悪化させ、介護人の苦難を増加させるもので、非常に心配しています。

1つは、浦安市の特別養護老人ホームの入居申込書を見て、改めて気がついたことです。以前、私立の有料老人ホームのパンフレットを見て、知っていたのですが、入居一時金も、月ごとの入居費も年金ではまかなえないので、放置し、忘れかけていました。

①入居の条件として、「胃ろう等を設置しており、医療行為の必要な人」はだめだということです。自分で食べられなくなったら“尊厳死”を選べという様な意見も見受けられますが、脳梗塞などで運動機能の一部が麻痺した場合や、私の家内の様に、脳細胞疾患の場合には、他の機能は十分残っているのに、口からの食事が上手に出来なくなる事があり、胃ろう設置者は今後増加していくと考えられます。もし、全財産をはたいて有料老人ホームに入っていた場合には、胃ろうを付けてホームから追い出されるか、胃ろうを付けないで、ホーム内で餓死するかの選択をせざるを得なくなります。浦安市外を探せば、胃ろう設置者を受け入れてくれる施設があるかもしれませんが、市外に行かざるを得ない市政で宜しいのでしょうか？老人ホームには看護師又は医師の常駐を義務づけるか、それに準じた処置を講ずるべきです。

②現在私は退職しておりますが、私の様な立場の介護者にとって、浦安では職を持つことと、介護をすることの両立が不可能だという事です。デイサービスとショートステイの送迎の時間を変更し、その日には1-2日の仕事がまともに出来る様にすべきです。これについては第2回目により詳しく書きました。

③私の場合には、幸い認定担当者の理解があったので、ほぼ希望通りの介護度の認定を受けましたが、かなり危うかったようです。良く事情が分かっているケアマネージャーの意見が反映される様にするか、介護度の区別を無くした方が良いかもしれません。介護度の違いによって、受けられるサービスに違いがあるというのは、おかしいのかもしれませんが、一人一人の状況に合わせるべきです。



④介護度に伴う、介護保険で受けられる援助額の上限にも問題があります。要介護度が低く、症状のあまり重くなかった頃は、余裕があったのですが、最も重い要介護度になり、症状も重くなった最近では、無理をしてサービスを断っていました。

⑤介護保険の不備が目につきます。病院内での付き添いは浦安市独自の援助が出来ましたが、同居者がいる場合の生活援助や、資源ゴミとしての新聞紙の搬出が出来ない等、数え上げればきりが無いほど多くの制限があります。介護で疲れ切っている同居者への支援も必要ではないでしょうか？

# 元木美奈子を 励ます



4月24日 投票の浦安市議会

議員選挙が近づいてまいりました。この4年間の活動状況および実績をご報告するとともに、四選を目指しての事務所開きといたします。

絶対に負けられない選挙です。  
力強いスタートにしたいと思います。  
あなたの顔を見ると、声を聞くと、  
大きな元気が湧いてきます。ぜひ、お越しいただき  
一声励ましをお願いします。



- 日時 2月 5日 (土) 14時 ~
- 場所 元木美奈子宅 入船4-37-14 (電話 355-8526)
- 主催 日本共産党 浦安市東部後援会

- 「私（男性）の介護体験」は、第8回をもって終了となります。2009年12月号から1年にわたり執筆して頂きました。伊那三郎さん、お忙しい中ありがとうございました。
- ★ 1月号から「詩」のコーナーを設けました。村上さんよろしくお願ひします。

## 看板を替えた

村上 ますえ

年金受給日の15日は  
年金者組合の行動日  
「後期高齢者医療廃止」の旗の下  
郵便局から 銀行から出て  
スーパーへ向かう高齢者へ呼び掛ける  
「年寄りを差別するな」  
「うば捨て政策をやめろ」  
高齢者たちの共感で集まった署名  
政権は衣を替えることと勘違い  
「年金は値切られ  
タクシー代もないかも」  
買い物袋いっぱい買いこみ  
タクシーで帰る唯一楽しみの日だった  
田舎町の高齢者たちの落胆が見える

